京都大学農学研究科　応用生物科学専攻

D3

■ 博士後期課程ディプロマ・ポリシー ■

- ・専門領域における深い学識と高度な実験技術・分析能力
- ・独創的な課題・テーマを設定し、自ら、それを解決・展開する能力
- ・その成果を論文化する能力

他研究機関との共同研究を企画・実施できる能力

生命や社会現象に対する深い理解に基づいた高度な倫理性とバランス感覚

人や自然との調和ある共存と秩序ある人類の繁栄の維持に貢献

D2

博士論文（複数の審査員による審査）

D1

＜＜　博士研究　＞＞　　研究指導、演習、実験、TA・RAへの従事、学会参加、投稿論文執筆、学振への応募等多様な研究活動

博士後期課程アドミッション・ポリシー

農学関連の研究者や高度専門技術者を目指し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる人材

M2

■ 修士課程ディプロマ・ポリシー ■

生命現象のメカニズム、生物の生産と利用、地域のレベルから地球規模にいたる環境保全、人類の食料問題等に関する高度な専門知識と研究技術を習得している.

それぞれの専門領域において独創性の高い科学を担い、画期的な技術革新を実現したり、社会の発展を持続させるためにとるべき施策を提案することを自らの使命と感じる.

それぞれの専門あるいは関連する領域の研究者に自らの研究成果をアピールし、相互に理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持っている.

研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている.

修士論文（複数の審査員による審査）

M1

農林生物・応用動物・海洋生物系各分野開設の**講義**

農林生物・応用動物・海洋生物分野開設の**演習2**

農林生物・応用動物・海洋生物分野開設の**演習1**

農林生物・応用動物・海洋生物分野開設の**実験2**

農林生物・応用動物・海洋生物分野開設の**実験1**

他専攻開設の講義

多様な研究活動
- ・TAへの従事
- ・学会への参加
- ・学振への応募
- ・投稿論文執筆
- ・フィールド調査

研究科全専攻共通科目：農学研究者の倫理

修士課程アドミッション・ポリシー

幅広い視野と十分な基礎学力をあわせもち、かつ高い倫理性を身につけた人

農学研究を通じて、社会の発展に貢献するという意識の高い人

研究課題を自ら設定することができ、その課題に果敢にチャレンジする意欲のある人

国際的視野に立った高いコミュニケーション能力を有する人

ダブルディグリープログラム

農学特別コース（英語で修了可能な学位プログラム）

グローバル生存学大学院連携プログラム・森里海連環学教育プログラム・政策のための科学プログラム・極端気象適応社会教育プログラム等